

「八代・天草架橋の情勢と展望」



平成30年2月19日

八代市 

1. 八代天草架橋建設に向けた動きについて



1-1 八代・天草架橋建設促進期成会設立までの経緯

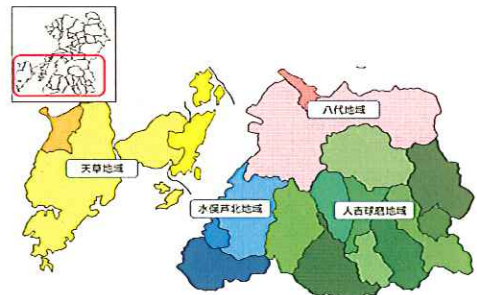
- ① 90分構想（熊本県天草事務所ワーキンググループ発表）
- ② 昭和60年4月16日：内外情勢調査会講演にて
八代ー松島間の自動車専用道路建設構想発表（当時：細川県知事）
- ③ 熊本・明日へのシナリオ（圏域間ネットワーク等の整備）
天草・八代架橋の建設を調査検討
- ④ 昭和63年4月11日
県南議員連盟と関係郡市の申し合わせ
⇒八代・天草架橋等県南部の振興策に大同団結で進むことを申し合わせる

平成元年6月2日

八代・天草架橋建設促進期成会 設立

会員：県南18市町村（八代・芦北水俣・人吉球磨・天草地域）

※設立時41市町村 減数理由：市町村合併による



1-2 八代・天草架橋建設に伴う関係団体

議員関係

八代・天草架橋建設促進議員連盟

- 設立年度：平成19年12月7日
- 現会長：吉永 和世 県議会議員
- 会員：県議会に所属する議員14名にて構成

八代・天草架橋建設促進市議会議員連盟

- 設立年度：平成20年10月5日
- 現会長：園田 一博 上天草市議会議長
- 会員：八代市議会及び上天草市議会に所属する議員39名にて構成（H29.6.30現在）

民間関係

八代・天草架橋建設促進民間協力期成会

- 設立年度：平成4年8月29日
- 現会長：杉本 隆之（八代経済開発同友会 代表幹事）
- 会員：八代経済開発同友会、八代商工会議所（一社）八代青年会議所、八代漁業協同組合 他

天草・八代架橋建設促進民間期成会

- 設立年度：平成15年6月26日
- 現会長：田島 章
- 会員：上天草市に住所を有する個人、企業、団体等にて構成

八代・天草架橋建設促進期成会を含む計5団体にて、各種活動を展開

1-3 八代・天草架橋建設促進期成会の主な動き

- 平成元年～
 - ・県要望、啓発事業、講演会、勉強会の実施
民間期成会との連携
- 平成17年度（H17.11.26）
「八代天草架橋建設促進総決起大会」開催
- 平成18・19年度
「新幹線と各地域間交通アクセスの強化のための調査」実施
- 平成23年度
「地域間幹線交通網共同調査」実施
- 平成24年度（H25.2.4）
「八代天草架橋建設促進総決起大会」開催
- 平成27年度
「県南振興と天草活性化シンポジウム」共催



■平成24年度
「八代・天草架橋建設促進総決起大会」



■県要望（平成28年度）



■啓発事業（八代・天草架橋パンフレット、チラシ作成）



■共催事業（県南振興と天草活性化シンポジウム）

1-4 八代・天草架橋建設促進期成会 平成29年度 主な活動

平成29年度 主な活動 ※平成29年度定期総会より

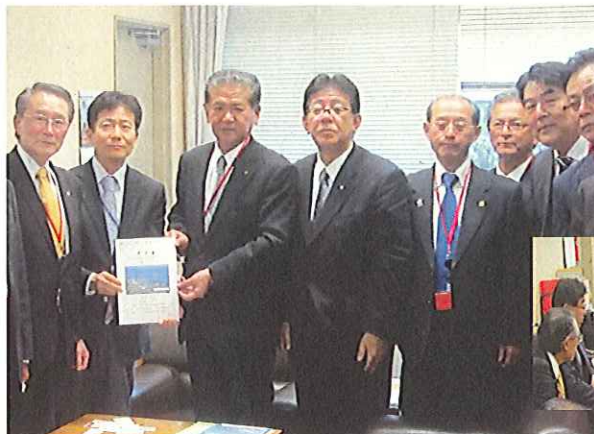
1. 国や県に対しての要望活動
2. 機運醸成を図るための啓発事業等の実施
3. 民間期成会への支援及び連携

要望書

災害に強い地域づくりや広域連携強化に資する
交通基盤整備について



熊本県八代市
熊本県上天草市
八代・天草架橋建設促進期成会
八代・天草架橋建設促進民間協力期成会
天草・八代架橋建設促進民間期成会



●国土交通省道路局長へ
民間期成会と合同で
要望活動実施
(平成29年11月)



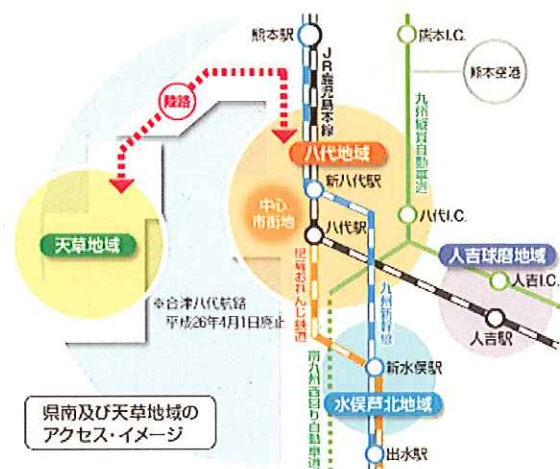
1-5 八代・天草架橋建設促進期成会 平成29年度 主な活動

[illegible]

↑八代天草架橋啓発ポスター

[illegible]

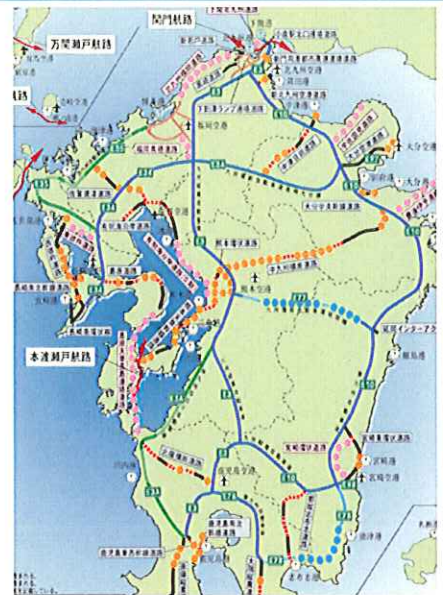
2. 過年度調査について



2-1 八代・天草架橋に伴う過年度調査（熊本県）

八代・天草架橋建設に伴う過年度調査（熊本県）

年度	内容
平成元年度	八代・天草架橋に関する基礎調査（～平成5年まで）
平成2年度	大型プロジェクトの関連性、アンケート調査実施
平成3年度	事業費概算：八代・小築島・大築島・天草（松島） 橋梁延長：10,250km、事業費概算：2,156億円
平成4年度	経済波及効果・整備優先度
平成5年度	トンネル建設について調査



国土交通省九州地方整備局
管内高規格幹線道路 及び 地域高規格幹線路線図

【出典】国土交通省九州地方整備局作成

2-2 新幹線駅と各地域間交通アクセス強化のための調査（平成18年～19年度）

新幹線駅と各地域間交通アクセス強化のための調査

■調査年度：平成18年～19年度（2カ年）

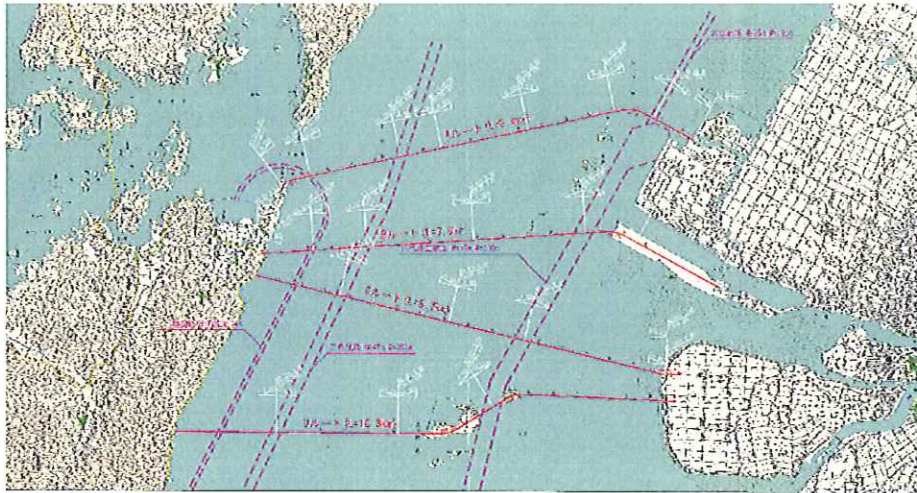
■調査目的：九州新幹線全線開業や南九州西回り自動車道の進展等をふまえ、県南及び天草地域の連携強化による活性化を図るため、環八代海を中心とした地域間交通アクセス強化のための方策や事業手法等について調査及び検討を行った。

2-3 新幹線駅と各地域間交通アクセスのための調査結果（平成18年～19年度調査）

■結果① ルート選定

八代外港地区から上天草市の下大戸ノ岬先端付近にいたるルートであり、八代港主航路の航路限界を考慮する必要のないルート。

主要航路は三角航路のみとなり、海上区間ルート延長は **8,800m**

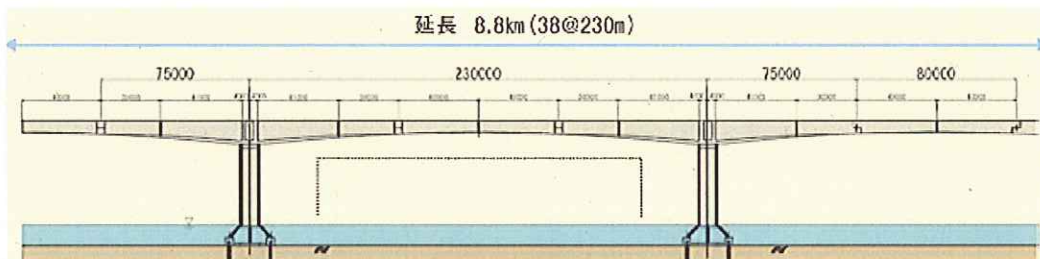


2-4 新幹線駅と各地域間交通アクセスのための調査結果（平成18年～19年度調査）

■結果② 選定工法等及び事業費

P C多経間連続箱桁橋（コンフェレーション橋）を採用。

従来工法から上記工法へ変更したことから、建設費用2,000億円以上から **801億円**と試算



■結果③ 費用便益分析

	ケース	今回調査
推計交通量 (台/日)	無料	5,900
	1,000円	2,800
B/C 費用便益比	無料	1.0
	1,000円	0.9

2-5 地域間幹線交通網共同調査（平成23年度調査）

地域間幹線交通網共同調査

■調査年度：平成23年度

■調査目的：平成18・19年度に調査した「新幹線駅と各地域間交通アクセス強化のための調査」を基に、事業化に向けて解決すべき技術的な課題の整理や将来交通量の推計、費用便益分析及びPPP／PFI導入の可能性を検討

2-6 地域間幹線交通網共同調査結果（平成23年度調査）

地域間幹線交通網共同調査

■結果① 外部便益（総便益に反映させる可能性がある事項）

- ・九州新幹線全線開業と本架橋による観光面での効果
- ・観光地の長時間滞在による効果
- ・防災に対する効果

■結果② 交通量推計

ケース (通行料)	推計交通量 (台/日)		差	増減率
	今回調査	前回調査		
無料	3,000	5,900	▲2,900	▲49.15%
500円	1,100	4,400	▲3,300	▲75%
1,000円	900	2,800	▲1,900	▲67.86%

減少の要因 ⇒人口減少（少子高齢化）

2-7 地域間幹線交通網共同調査結果（平成23年度調査）

地域間幹線交通網共同調査

■結果③ 費用便益分析

	ケース	今回調査	前回調査
推計交通量 (台/日)	無料	3,000	5,900
	1,000円	900	2,800
B/C 費用便益比	無料	0.4	1.0
	1,000円	0.2	0.9

■結果④ PPP/PFI導入可能性の検討について

ケース①：道路運送法上の道路として整備

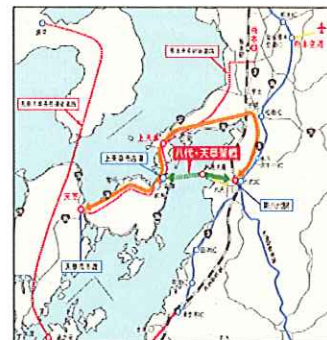
道路災害発生時の復旧に関して、災害負担法等の適用がないため、災害時の復旧費用を道路運送法上の道路管理者が全額負担しなければならない。

ケース②：道路法上の道路として整備

有料道路事業に関する国庫貸付金制度等あるものの、償還期間が据え置き期間を含んで20年以内とされている。当事業は、海洋架橋構想であり、建設・維持管理費が高くなることから、事業の投資回収期間が長くなることが想定される。

■結果⑤ 技術的課題の抽出

3. 八代・天草架橋建設に向けた現状と課題



3-1 現状と課題【観光面】

観光面の現状



3-2 【観光面の現状】 九州に寄港するクルーズ船の動向

九州に寄港するクルーズ船の動向

○九州管内に寄港するクルーズ船の寄港回数は、欧米クルーズ船社が東アジアへの配船を増加させていることや中国資本のクルーズ船社が新規参入していることから年々増加傾向にあり、平成28年は過去最多の814回を記録し、全国の約4割を占めている。

○平成29年は新たな欧米クルーズ船社のアジア配船も予定されており、九州管内の港湾には1,000回以上の岸壁の予約が入っている。



九州管内の主なクルーズ船寄港実績



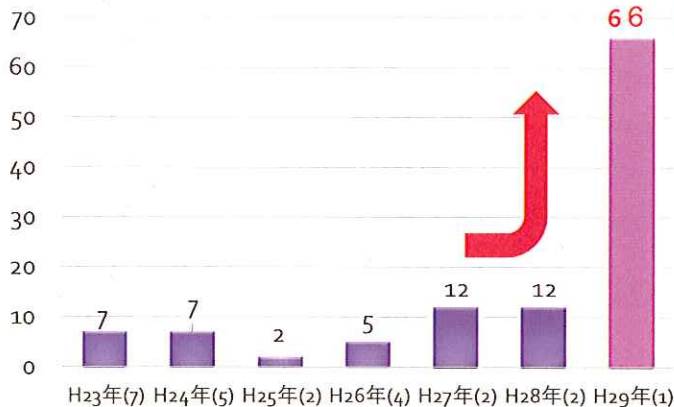
※H29予定は、11月1日時点の港湾管理者等がHPや郵送等で公表している最新情報を基に九州地方整備局作成。

3-3 【観光面の現状】 人流で見る八代港

人流で見る八代港

- 八代港については、平成29年度、現時点で64隻
- 将来的には、年間200隻の受入を目指す。(港湾管理者：熊本県)

年別クルーズ客船実績(隻) ※表は暦年



【平成29年66隻 乗船者数 等】

乗船客数 26万7871人

乗組員数 10万5414人

(内 邦船 1隻)

乗船客数 839人

乗組員数 481人

船別隻数

クアンタム・オブ・ザ・シーズ 31隻

オペレーション・オブ・ザ・シーズ 19隻

マリナー・オブ・ザ・シーズ 9隻

コスタ・セレーナ 2隻

ノルウェー・ジョイ 3隻

マジェステック・プリンセス 1隻



3-4 【観光面の現状】 国際旅客形成港湾へ

国際旅客形成港湾へ



熊本県



連名により提出
「官民連携によるクルーズ拠点形成計画書」



国土交通省

審議

「官民連携による国際クルーズ拠点」に全国で6港を選定

国による事業採択

国際旅客船拠点形成港湾の指定 平成29年7月26日



国際旅客船拠点形成のための計画書 作成 平成29年11月22日



RCLとの協定 締結(平成30年2月9日)

【参考】

八代港国際クルーズ拠点整備事業～耐震強化岸壁整備着工式 平成29年11月25日(土)

<参考>

全国の選定港湾
(6港湾)

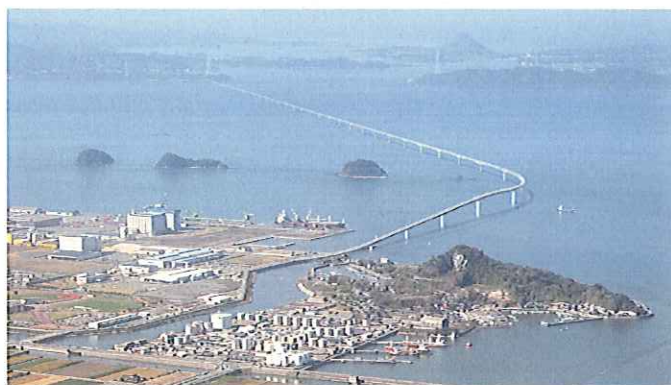


3-5 【観光面の現状】 八代港寄港クルーズ船による観光地情報（現行）



3-6 現状と課題【物流面】

物流面の現状



3-7 【物流面の現状】 県内でも有数な農林水産地域

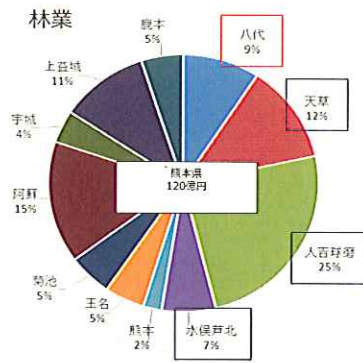
県内でも有数な農林水産業地域

出典：熊本県 市町村民所得推計(平成26年度)



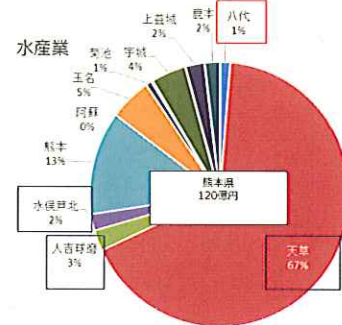
■ 県の農業生産額に対して各地域が占める割合

- 県全体の29%が県南・天草地域
- 地域で約491億円の生産額
- 八代地域においては、県内一の農業生産額(2,734億円)



■ 県の林業生産額に対して各地域が占める割合

- 県全体の53%が県南・天草地域
- 地域で約61億円の生産額
- 人吉地域においては、県内一の生産額で25%(29億円)



■ 県の水産業に対して各地域が占める割合

- 県全体の73%が県南・天草地域
- 地域で約86億円の生産額
- 天草地域においては、県内一の生産額で67%(80億円)

3-8 【物流面の現状】 八代港におけるコンテナ取扱量の推移

八代港におけるコンテナ取扱量の推移



3-9 【物流面の現状】 八代港の物流機能の充実

新たに設置された
大型ガントリークレーン



民間企業による物流機能の充実



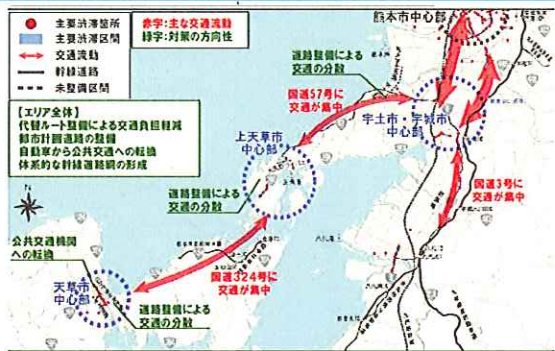
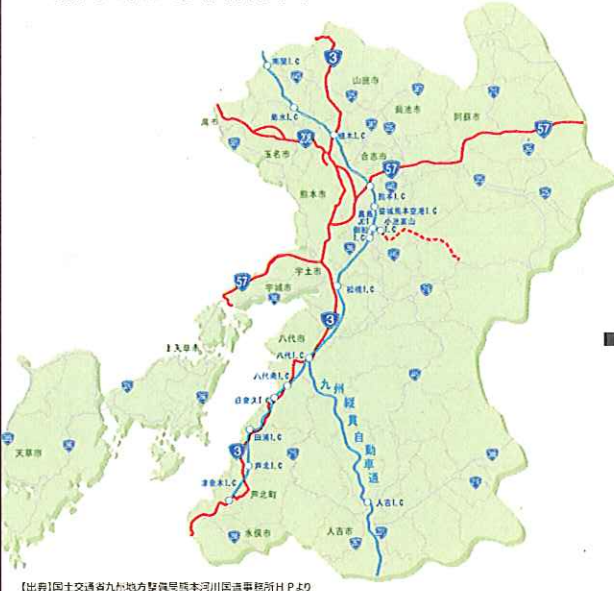
3-10 現状と課題【災害面】

災害面の現状

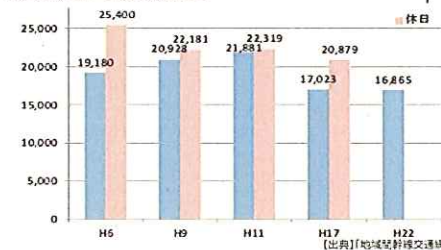


3-1 1 【災害面の現状】 天草地域交通網の現況

■ 熊本県主要路線図



■ 国道266号大矢野町の交通量



3-1 2 【災害面の現状】 災害時の八代港

＜被災後の海上輸送及び給水・入浴支援等の拠点＞

平常時 normal

災害時 disaster



テップ船



石炭船



穀物船



海上保安庁「おおすみ」



海上自衛隊「いずも」



「はくおう」

＜被災後における海上輸送網の確保＞

4/23から、井本商船が八代港と博多港を結ぶ、臨時のコンテナ航路を開設し、生活物資の安定輸送や被災地の産業活動復旧を支援。



新丸(積載可能コンテナ数:72TEU)



【出典】H29.2八代港を取り巻く現状と今後の課題について (国土交通省九州地方整備局港湾部作成)



4. 八代・天草架橋建設に向けた今後の動き

■人流や物流だけでなく、天草地域と九州本土間の災害時の代替路確保につながる。
■天草市本渡⇄新八代駅間は
120分⇒60分の時間短縮が可能。

所要時間の短縮		
上天草市合津⇄新八代駅		
整備前	90分	
整備後	30分	60分短縮
天草市本渡⇄新八代駅		
整備前	120分	
整備後	60分	60分短縮

4-1 八代・天草架橋実現に向けたシナリオ（4年計画）

八天架橋実現に向けたシナリオ【イメージ】

【状況の変化】		【施策の目標】	
○熊本地帯を核に、ダブルセーフティネットの必要性向上 ○海外大型クルーズ船の八代港寄港回数的大幅増 →クルーズ船客の周遊先として天草地域とつながルートの必要性向上 ○八代港の機能強化により、物流・観光（人流）の拠点性が向上		○地域としての声を大きくするための組織強化 ○市民警察の強化による地域全体での連携醸成 ○国に対する要望活動の強化	

		機運の再醸成と体制強化		実現に向けた足掛かりづくり		架橋整備の初動	
		H27～H28	H29	H30	H31	H32	H33以降
期成会活動	啓発活動の強化	・シンポジウムの開催（民間期成会） ・子供を対象にぬり絵募集 ・啓発チラシの配布（ぬり絵参加賞に同封）	・市民の機運醸成 ・民間期成会との協働事業 例：意見広告（新聞）、啓発チラシの全戸配布（身近なメリットの周知）	・民間期成会との協働事業（同左）	・機運の高まり ・民間期成会との協働事業 例：シンポジウムの開催、交流事業の実施（スポーツ大会等）	・高まった機運を行動 ・民間期成会との協働事業 例：総決起大会	
	要望活動の強化	・期成会、八代市、上天草市連名での要望活動（国に代弁ルートの必要性強調） ・民間期成会との連名（県要望）	・議員による要望活動 ・県、民間期成会との同行による要望活動の実現	・会員及び県、民間期成会の同行による要望活動	・ポイントをつけた要望活動 ・国等による基礎調査の実施等の要望	・国等による基礎調査の実施等の要望	・国等による基礎調査の予算化
	その他		・機運醸成に向けた事前調査（関係団体等へのヒアリング、視察等）	・広域的な物流・観光等発展課題の策定（架橋の必要性をクローズアップ）	インバウンド客の受け皿拡充の機運が高まる アジアとつながる物流拠点形成の機運が高まる		
		物流・観光の強化					
参考（八代港）		海外大型クルーズ船が70隻寄港予定	・ガントリークレーンの整備完了 ・クルーズ船が寄港増大（将来的には200隻超）	クルーズ船専用岸壁の整備完了	ターミナルビルの整備完了		
		南九州のインバウンド受入基地へ					

4-2 【観光面の効果】 八代・天草架橋がもたらす観光面の効果

県南地域の活性化＝県全体の発展

八代天草架橋建設 【起爆剤】

八代港への大型クルーズ船の
更なる増加見込み

- ・天草全土を圏域に入れ、大型クルーズ船オプションツアーの構築が可能
- ・人吉球磨から天草への遺産ツアーなど付加価値のあるツアーリングの提供が可能

県南及び天草地域の観光人口の増加、
地域経済効果増大



4-3 【物流面の効果】 八代・天草架橋がもたらす物流面の効果



4-4 【物流面の効果】 八代・天草架橋がもたらす災害面の効果

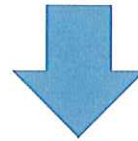


4-5 「広域的な物流・観光等発展構想」の策定



■「広域的な物流・観光等発展構想」策定

- ①観光面 ②物流面 ③災害面
架橋整備効果の具体的な数値を算出するため、調査を行う。



地元の機運再醸成のため利用